

ネイティブポーキンアシラーゼI

Cat. No. NATE-0031

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、アミノアシラーゼ (EC 3.5.1.14) は、次の化学反応を触媒する酵素です：
 $\text{N-アシル-L-アミノ酸} + \text{H}_2\text{O} \leftrightarrow \text{カルボキシレート} + \text{L-アミノ酸}$ 。したがって、この酵素の二つの基質はN-アシル-L-アミノ酸とH₂Oであり、二つの生成物はカルボキシレートとL-アミノ酸です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、ペプチド結合以外の炭素-窒素結合に作用するもので、特に線状アミドにおいて働きます。この酵素は尿素回路およびアミノ基の代謝に関与しています。

用途 豚腎臓由来のアシラーゼIは、さまざまなS-アルキル-N-アセチル-L-システインおよびその炭素および酸素類似体のアシラーゼI触媒による脱アセチル化を研究するために使用されてきました。アシラーゼIは、N-アセチルアミノ酸をエナンチオマー的に純粋なL-アミノ酸に触媒するのに有用である可能性があります。

別名 アミノアシラーゼ 1; アミノアシラーゼ I; 脱水ペプチダーゼ II; ヒストザイム; ヒッピーリカーゼ; ベンザミダーゼ; アシラーゼ I; ヒッピーレース; アミド酸脱アシル化酵素; L-アミノアシラーゼ; アシラーゼ; アミノアシラーゼ; L-アミノ酸アシラーゼ; α-N-アシルアミノ酸加水分解酵素; ロングアシルアミドアシラーゼ; ショートアシルアミドアシラーゼ; ACY1 (遺伝子名); N-アシル-L-アミノ酸アミド加水分解酵素; EC 3.5.1.14; 9012-37-7

製品情報

種	豚の
由来	豚の腎臓
形態	凍結乾燥粉末。
EC番号	EC 3.5.1.14
CAS登録番号	9012-37-7
活性	> 2,000 ユニット/mg タンパク質; 500-1,500 ユニット/mg タンパク質
代謝経路	2-オキソカルボン酸代謝、特定生物のバイオシステム; アフラトキシンの活性化と解毒、特定生物のバイオシステム; 生物学的酸化、特定生物のバイオシステム
機能	アミノアシラーゼ活性; 金属イオン結合; メタロペプチダーゼ活性
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 7.0の条件下で1時間あたり1.0μモルのN-アセチル-L-メチオニンを加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C